

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
 【発行日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【公表番号】特表2010-523900(P2010-523900A)  
 【公表日】平成22年7月15日(2010.7.15)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-028  
 【出願番号】特願2010-503449(P2010-503449)  
 【国際特許分類】

F 0 2 C 7/00 (2006.01)  
 B 2 5 H 1/18 (2006.01)  
 F 0 4 D 29/64 (2006.01)  
 F 0 1 D 25/00 (2006.01)

【F I】

F 0 2 C 7/00 D  
 B 2 5 H 1/18  
 F 0 4 D 29/64 C  
 F 0 1 D 25/00 X

【手続補正書】  
 【提出日】平成22年8月4日(2010.8.4)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

水平面(47)に対して垂直に立てられたロータ(13)が保持装置(45)の少なくとも1つの支え面(61)によって横側を支持される、水平面(47)に対して垂直に立てられた流体機械におけるロータ(13)を転倒防止するための保持装置(45)であって、

ロータ(13)を鉛直に立てるために、鉛直に立てられたロータが鉛直直立作業中に当接している支え面(61)が水平面(47)に対して平行に変位できることを特徴とする水平面(47)に対して垂直に立てられた流体機械におけるロータ(13)を転倒防止するための保持装置。

【請求項 2】

支え面(61)が少なくとも2つのリングセグメント(55、57)から成るリング(53)に形成されていることを特徴とする請求項1に記載の保持装置。

【請求項 3】

両リングセグメント(55、57)の一方のリングセグメント(57)が他方のリングセグメント(55)に対して回動可能に取り付けられていることを特徴とする請求項2に記載の保持装置。

【請求項 4】

それぞれ水平面(47)に対して平行に延び、支え面(61)を変位するために水平面(47)に対して平行に移動できる要素を有する複数のねじ装置(63)あるいは複数の液圧ピストンシリンダ装置が設けられていることを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1つに記載の保持装置。

【請求項 5】

ねじ装置(63)あるいは液圧ピストンシリンダ装置が仮想中心の周りに放射状に配置

されていることを特徴とする請求項4に記載の保持装置。

【請求項6】

少なくとも1つの偏心輪を有し、この偏心輪に前記支え面(61)が設けられていることを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1つに記載の保持装置。

【請求項7】

保持装置(45)が基礎(29)に固定でき、基礎(29)に複数の支柱(64)と斜交い(65)によって支えられた台座(49)を有していることを特徴とする請求項1ないし6のいずれか1つに記載の保持装置。

【請求項8】

支え面(61)が台座の高さに設けられていることを特徴とする請求項6に記載の保持装置。

【請求項9】

基礎(29)上に固定された方向転換台(27)と、該方向転換台(27)に回動可能に支持され基礎(29)の水平面(47)に対して垂直に立てられるロータ(13)を転倒防止するための請求項1ないし8のいずれか1つに記載の保持装置(45)とを有し、少なくとも1本のタイロッド(15)によって相互に締付け結合された複数の回転円板(21)で構成された流体機械におけるロータ(13)を組立および分解するために利用される組立装置(23)であって、

保持装置(45)が方向転換台(27)と別個に支柱を介して基礎(29)に固定されることを特徴とする複数の回転円板(21)で構成された流体機械におけるロータ(13)を組立および分解するために利用される組立装置。

【請求項10】

既にほぼ鉛直に立てられたロータ(13)ないしタイロッド(15)が保持装置(45)あるいは組立装置(23)に配置された支え面(61)で支えられる、水平面(47)に対して垂直に立てるべき流体機械におけるロータ(13)あるいはそのタイロッド(15)を鉛直に立てる方法であって、

ロータ(13)ないしタイロッド(15)をほぼ鉛直に立てた後、ロータ(13)ないしタイロッド(15)が、その横側を既に支持している支え面(61)の変位によって鉛直に立てられることを特徴とする水平面(47)に対して垂直に立てるべき流体機械におけるロータ(13)あるいはそのタイロッド(15)を鉛直に立てる方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

第1の課題は請求項1に記載の特徴を有する保持装置によって解決される。方法に向けられた課題は請求項10に記載の特徴を有する方法によって解決される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

